

子どもが伸びる授業づくりプロジェクト:レインボーモデルの具体化

【仮説検証】

③内的な思考・判断の言語化

教材文「たんぼぼのちえ」の中で、自分が一番かしこいと思う知恵を伝え合う活動をすることで、図書資料を読んだときにもかしこいと思うところを見つけ出し、理由や思いを伝え合うことができるのではないかと考える。本時は、初発の感想を伝え合ったり、ラーニング・マウンテンを児童と一緒に作ったりしながら学習の見通しをもつことで、自分の考えをクラスの友だちに伝えたいという思いをもてると考えた。

1 単元名 じゅんじょに気を付けて読もう

教材名 「たんぼぼのちえ」 (全10時間 本時 2/10時)

2 単元の目標

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう人間性等 |
|---|--|---|
| ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(2)ア) | ◎時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思C(1)ア) ○文章中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思C(1)ウ) | ○進んで、文章の中の重要な語や文を考えて選び出したり、読書をしたりしながら、思いや考えを伝え合おうとする。 |

3 児童について

本学級の児童は、まじめに学習する児童が多く、書く活動より話したり伝えたりする活動が好きな児童が多い。また、ほとんどの児童は進んで読書をしているが、数人の児童は、声をかけてもなかなか読書をしようとしていない実態がある。また、日記などを見ると、書くことが好きでたくさんの文章を喜んで書く児童がいるが、自分の経験や気持ちを書くことができず、文章を写すことが精一杯な児童もいる。

児童は第1学年のときに「くちばし」で「問い」と「答え」という文章形式、「うみのかくれんぼ」では、順序に気を付けて読む学習、「じどう車くらべ」や「どうぶつの赤ちゃん」では、比べて読む学習を行ってきた。それらすべての学習で、事柄や説明、時間的な順序を考えながら読む活動の経験を積んできていることから、本単元を時間の順序に気をつけながら読み進めていくことができると考える。また、第3ステージではクイズ作りや図鑑作りをした経験がある。その経験を生かして、この単元でも自分の調べたことを発表する活動を行いたい。

この単元では、植物について書かれた図書資料の並行読書を行い、第3ステージで「かしこいと思うところ」を伝え合う活動をする。文型や文例を提示しながら、読んで分かったことや自分が知っていることを比べて自分の考えをもち、それを友だちに伝えられるようにしていきたい。

4 ラーニング・マウンテン

たんげん名【じゅんじょに気をつけて読もう】ぜんぶで（10）時間

まなびの山にのぼろう！

学しゅうかだい(みんなで かいけつしたい とい)
草花のちえについて、かしこいと思うことを順序に気をつけて伝えよう。

分かること・できること

ア 内容が同じか違うか、書かれていることの順序が分かる。

かんがえること・あらわすこと

イ 大事な言葉や文を選んで書きぬき、思ったことを書く。

くふうして まなぼうとすること

ウ 草花のちえを見つけたり、大事な言葉や文を使ったりして、自分の考えを分かりやすく伝えようとする。

だい3ステージ（3）時間

⑧⑨ 植物の本を読んで、かしこいと思うところを書く。

⑩ 友だちに伝えあい、学習のふりかえりをする。

たしかめ

ウ ワークシート

イ ワークシート



だい2ステージ（5）時間

③時間がたったことが分かる言葉を見つける。

④、⑤いつ、どんなちえを働かせているか考え、表にまとめる。

⑥、⑦たんぼぼがちえを働かせるわけを考える。

たしかめ

ア ノート

イ ワークシート

だい1ステージ（2）時間

① 「たんぼぼのちえ」を聞いて、初発の感想を書く。

② 感想を伝え合い、学習計画を立てる。(本時)



このたんげんにかかわって これまでに知っていること、できること

【くちばし】「とい」の文と「こたえ」の文に気をつけて読む。【うみのかくれんぼ】大事な言葉を確認しながら読む。

【じどう車くらべ】説明の順序に気をつけて読む。【どうぶつ赤ちゃん】くらべて読むと、何が違うのかがよく分かる。

5 本時の学習

(1) 本時の目標及び評価規準

| 本時の目標 | 評価規準 | | |
|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 単元の目標を確かめ、学習計画を立てることができる。 | A規準 | B規準 | Cの児童への手立て |
| | 単元のめあてを確認し、学習計画を積極的に考えようとしている。 | 単元のめあてと学習計画を確認し、見通しをもって学習を進めようとしている。 | 友だちの話を聞き、自分の考えがもてるように選択肢を提示する。 |

(2) 学習過程

| 学習活動 | 主な発問(○)と予想される児童の反応(・) | 教師の支援(○)と評価規準(★) |
|---|---|---|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 | ○たんぼぼのちえを読んで、初めて知ったことをノートに書きましたね。今日は、書いたことを伝え合って、ラーニング・マウンテンを完成させましょう。 | ○ラーニング・マウンテンを掲示し、学習の見通しがもてるようにする。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> かんそうをつたえあい、どのように学習していくかを考えよう。 </div> | | |
| 2 初めて知ったことを伝え合う。 | ○「たんぼぼのちえ」を読んで、初めて知ったことやこれから考えたいことを伝え合ひましょう。 | ○黒板に挿絵を並べておき、児童の発言がどの挿絵の箇所と対応するか確かめながら板書する。 |
| 3 学習計画を立てる。 | ○第3次では、どんなことをしたいですか。そのために、第2次でどんな学習をしていくといいですか。 ・クイズを作りたい。 ・辞典を作りたい。 ・いろいろな植物について調べたい。 ・そのために、たんぼぼのちえでかしこいところを見つけていきたい。 ・自分の考えも書いていきたい。 ・順序に気をつけて読んでいきたい。 | ○「じゅんじょに気をつけて読もう」というねらいから逸れないように気をつける。 ○児童の発言を受け止め、よりよいラーニング・マウンテンが作れるよう助言する。 ★学習計画を立てることができる。 (態)【発言】 ○他の植物について書かれている図書資料を提示し、意欲を高めたい。 |
| 4 本時の振り返りをする。 | ○これからの学習で、楽しみなことを書きましょう。 | ○文字数や時間を指定して書く。 |
| 5 次時の学習について知る。 | ○教材文を詳しく読んでいきましょう。ほかの植物について書かれている本を読みましょう。 | ○次時の学習について説明し、学習の意欲を高める。 |